# よりよいまちに 一般質問



一般質問とは…議員が市政に対する疑問をただし、執行機関の見解を求めるとともに、自己の意見を述べるものです。枚方市議会では、通常、6・9・12月の各定例月議会で行われます。

全編の録画映像はこちらから




## 1日目（9月11日）

### 樟葉駅前広場 ハトへの給餌行為抑止へ 実効性のある対策を

大阪維新の会 枚方市議会議員団
志甫直哉



**議員** 樟葉駅前広場はほこみち制度（＊1）の活用でにぎわう一方、ハトのふん等の被害があり、快適な空間確保が課題である。継続的な給餌行為の抑止や被害への対策を聞く。

**部長** 監視カメラの設置や、通報システムの構築などを行っており、今後はAIカメラも活用する。

**要望等** AIカメラなどの効率的な対策と条例による明確なルールを組み合わせ、持続可能で実効性のある対策を求める。

**議員** 9年3月末廃止予定のバス路線3系統に対する代替交通の導入に向けた検討状況を聞く。

**バス路線廃止の代替交通 持続可能な手段の検討を**

**部長** 白ナンバー（＊2）での代替交通導入に向け、運行経路やバス停、運行便数等を検討している。

**要望等** 運行開始後も地域の声を聴き、柔軟に見直しを行うとともに、利用状況や課題を検証し、持続可能な移動手段について幅広く検討して今後の本市の地域交通政策につなげるよう求める。

### 香害に関する情報提供 市ホームページの改善を

日本共産党議員団
堤 幸子



**議員** 香料による香害は、化学物質過敏症との関連が指摘されている。啓発ポスターの掲示施設と、その他の周知方法を聞く。

**所長** 市役所と保健所の掲示板へポスター掲示しているほか、国のサイトへのリンクを市ホームページに掲載し、希望者にチラシを配付している。

**要望等** 現在の市ホームページは、香害についての表題すらなく、市民が求めている情報に行き着かない。改善を求める。

**議員** 災害時に、障害者が安心して避難生活を送る上で、通い慣れた通所先に避難できる、直接避難型福祉避難所は重要な役割がある。現在3か所のみだが、拡充予定はあるのか。

**直接避難型福祉避難所 障害者の安心に向け 拡充し体制強化を**

**所長** 障害者が日頃から利用している事業所に働きかけを行うなど、さらなる直接避難型福祉避難所の拡充に向け取り組む。

**要望等** 他市に比べ少ない現状を踏まえ、障害者が安心して避難できる体制強化を求める。

### 浸水対策 老朽化したポンプなど設備機器更新の考えは

公明党議員団
丹生真人



**議員** 本市の雨水ポンプ場の耐震化は11年度完了予定だが、老朽化したポンプ等の設備機器の更新はどう考えているのか。

**部長** 10年度策定予定の下水道ストックマネジメント計画（その3）において、優先順位や整備手法の検討を進めている。

**要望等** 設備機器更新の着実な実施に加え、西船橋地区の水路かさ上げ等、個々の地区における必要なハード対策も予算を確保して進めるよう求める。

**議員** バス路線廃止となる3系統で代替交通の導入検討が進められているが、サービス水準維持のため、京阪バス株式会社発行の各種定期券を継続利用可能にすべきではないか。

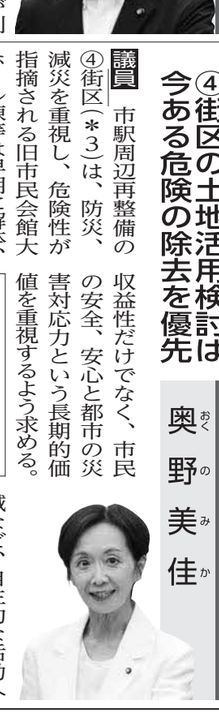
**バス路線廃止 代替交通導入後も 定期券を利用可能に**

**部長** 現行の定期券が利用できる連携方法や仕組みを検討していく。

**要望等** 持続可能な公共交通ネットワークの実現に向け、行政が主体となって協議体を設置し、PDCA管理の仕組みを構築するよう求める。

### 市駅周辺再整備 ④街区の土地活用検討は 今ある危険の除去を優先

連合市民の会
奥野美佳



**議員** 市駅周辺再整備の④街区（＊3）は、防災、減災を重視し、危険性が指摘される旧市民会館大ホール棟等は早期に解体、撤去すべきではないか。

**部長** ④街区は災害時の避難場所や防災機能の確保などを重視して検討する。老朽化施設は再整備の予定を考慮し対応する。

**要望等** 今ある危険の除去を優先し、土地活用の収益性だけでなく、市民の安全、安心と都市の災害対応力という長期的価値を重視するよう求める。

**議員** バス路線廃止となる3系統で代替交通の導入検討が進められているが、サービス水準維持のため、京阪バス株式会社発行の各種定期券を継続利用可能にすべきではないか。

**バス路線廃止 代替交通導入後も 定期券を利用可能に**

**部長** 現行の定期券が利用できる連携方法や仕組みを検討していく。

**要望等** 持続可能な公共交通ネットワークの実現に向け、行政が主体となって協議体を設置し、PDCA管理の仕組みを構築するよう求める。

**議員** 市駅周辺再整備の④街区（＊3）は、防災、減災を重視し、危険性が指摘される旧市民会館大ホール棟等は早期に解体、撤去すべきではないか。

**部長** ④街区は災害時の避難場所や防災機能の確保などを重視して検討する。老朽化施設は再整備の予定を考慮し対応する。

**要望等** 今ある危険の除去を優先し、土地活用の収益性だけでなく、市民の安全、安心と都市の災害対応力という長期的価値を重視するよう求める。

**議員** 自治会加入率の低下や担い手不足が進む中、防災、福祉など地域の機能をどのように維持し、行政としてどう支えるのか。

**自治会の担い手不足 地域を支える行政へ**

**室長** 地域活動の負担軽減など、自主的な活動への支援に取り組む。

**要望等** 地域に共助を求めるなら、行政も担い手を支える必要がある。人が集い、活動できる場も含め、地域に必要な機能を守るため、地域を支える行政への転換を求める。



連合市民の会
奥野美佳

---

## 2日目（9月14日）

動画はこちら！



①大津真沙樹 ②松本佑介
③小池晶子 ④松岡ちひろ
⑤東 実名子 ⑥野村生代
⑦前田富枝

### 市制施行80周年記念事業 万博での芽生えを核に 未来へつながる取組を

大阪維新の会 枚方市議会議員団
小池晶子



**議員** 市制施行80周年記念事業は、節目を祝う一過性のイベントではなく、枚方の未来につながる種まきとすることが重要である。同事業における共創の考え方を聞く。

**部長** 市民や事業者など、本市を構成するあらゆる主体と新たな価値や可能性を創出し、地域の持続的な発展につなげていく。

**要望等** 大阪・関西万博やひらかた万博で芽生えた共創やネットワークを同事業の核とし、継続的に発展させるよう求める。

**働く女性に優しいまち 目指した取組を**

**議員** 女性がライフステージの変化にかかわらず、継続してキャリア形成を図れるよう、市内企業の職場環境づくりを促進するための取組を聞く。

**部長** 女性活躍に取り組む企業を国が認定する「えるぼし認定」などの制度の周知、啓発のほか、先進的な取組を行う事業者の事例を紹介している。

**要望等** 働く女性に優しいまち枚方を目指し、庁内横断的な取組を求める。

### 北部地域の浸水被害 浸水原因を検証し 地域特性に応じた対策を

大阪維新の会 枚方市議会議員団
佐田あゆ美



**議員** 8年7月2日に楠葉朝日地区等で浸水被害が発生した。その際の北部ポンプ場の状況を聞く。

**部長** 急激な水位上昇でポンプ2台がシステムエラーを起こし、手動で稼働させた。被害発生以降、設定を見直した。

**要望等** 管渠整備には多額の費用と期間を要する。今回の浸水原因を検証し、地域の特性に応じた対策に加え、被害を少しでも軽減するためのソフト面の取組の充実を求める。

**議員** 避難行動要支援者対策としてセルフプラン方式による個別避難計画作成のための書類を対象者1万2801人に送付し、3233人から計画の提出があったというが、どう受け止めているのか。

**実効性のある 個別避難計画作成を**

**部長** 過去4年間の実績である11人と比べ、一定の成果があったと考える。

**要望等** 今回の結果を分析し、約8千人の未返送者への次のアプローチにつなげ、実効性のある同計画の作成を求める。

### 特別養護老人ホーム 入所できていない現状 施設の整備目標を明確に

日本共産党議員団
広瀬ひとみ



**議員** 本市の特別養護老人ホームに1年以内に入所希望する実申込者数は、7年4月時点で518人であり、近隣市と比べても際立って多いが、現状をどう認識しているのか。また、希望者が入所できるよう、施設の整備目標を明確に位置づけるべきと考えるが、見解を聞く。

**部長** 必要な人が入所できる環境整備が重要と認識している。第10期介護保険事業計画の策定に向けては、入所希望者数やニーズを精査するとともに、必要な介護保険施設等のサービスの整備について、検討を進めている。

**要望等** 介護保険料を支払いながら、サービス基盤が整わないことが原因で利用サービスや経済的負担に差が生じることは問題である。また、施設整備を進めるだけでなく、家賃負担に対する助成など、高齢者の暮らしを支える手だての充実を求める。

**その他の質問**

○教員の負担軽減で子どもと向き合える時間を

○親子方式（＊4）による中学校全員給食検討を

### 要配慮者の避難 車中泊者等も含め 誰一人取り残さず支援を

公明党議員団
田中優子



**議員** 市は、市内ホテルと災害時の宿泊施設提供に関する協定を締結した。スペースに限りがあるが、どのような人の受入れを想定しているのか。

**部長** 大規模災害時は、優先順位をつけ、要配慮者の中から状況に応じた選択をせざるを得ないと考える。

**要望等** ホテル等に入れず、やむなく車中泊や在宅避難となる要配慮者に、状況確認や備蓄品配布を行うなど、誰一人取り残さない支援を求める。

**利用要件の緩和など 高齢者等の避難支援 早急に利便性向上を**

**議員** 市が実施するふれあいサポート収集（＊5）について、以前より利用要件の緩和を求めてきたが、検討状況を聞く。

**部長** 利用者の要望等を踏まえ、支援の拡充、改善の検討を進めている。

**要望等** 日々のごみ出しに苦労する高齢者や障害者は多く、ごみ出し支援の必要性は、今後もさらに高まると考える。利便性向上に向けた取組を早急に行うよう求める。

### 高齢者の移動を考慮 徒歩圏内で完結できる 「小さな拠点」の発想を

自由民主党・無所属の会
松本佑介



**議員** 本市の立地適正化計画（＊6）は、都市機能誘導区域が駅周辺に集中する一方、居住誘導区域は高齢者が無理なく移動できる範囲を超えて広がっている。実際に市民が移動する頻度も考慮して計画を策定しているのか。

**部長** 都市機能誘導区域の設定に際し、個人の移動頻度等の視点はないが、スムーズにアクセスできる圏域を考慮している。

**要望等** 高齢者の移動圏という観点を持ち、スーパーや医療機関等を集約した「小さな拠点」を設定する発想も必要である。

**やみくもな人員削減 方針転換し組織再生を**

**議員** 市のミス頻発の原因を掘り下げていくと、根底にはやみくもな人員削減の弊害があると考える。今般、過去最大規模の2百人程度を採用するが、方針転換の理由を聞く。

**市長** 退職者増や新規事業等、直面する諸課題に着実に対応するためである。

**要望等** 組織の強さ、現場の声が届く環境の取戻しを求める。

### 子どものニーズを満たす ボール遊びできる環境を

連合市民の会
大津真沙樹



**議員** 子どもが自由に外で遊べる環境が減る中、放課後オープンスクエアが受皿となっていると聞くが、ボール遊びの要望にどう対応しているのか。

**部長** ボール遊びを行う際は、安全に楽しむためのルールを話し合うなど、児童の意見を大切にするための工夫をしている。

**要望等** 子どもたち自身が本市でニーズを満たせているかが、将来の担い手になってくれるかに大きく関わると意見する。

**議員** 府道交野久御山線の歩道設置が進められており、JR沿線地域の交通改善に向け、接続する交野踏切から東側道路の対面通行化が不可欠である。交差点の先行改良で早期実現はできないか。

**野線 交山 交差点改良の先行で 道御 安全性・利便性向上を 府久**

**部長** 府の設計内容が決まった段階で、交差点改良の必要性や先行実施の可能性を協議するなど、府と連携して取り組む。

**要望等** JR沿線エリアの安全性・利便性向上のため、早期実現を求める。

### 暑熱対策 町なかに緑を増やして 涼しく過ごせる空間を

日本共産党議員団
松岡ちひろ



**議員** 農地の産業的土地利用が進み緑被率（＊7）が減少している。緑を守り、増やしながら、避暑空間を創出する暑熱対策が必要だが、取組を聞く。

**部長** 公共施設等を活用した避暑空間の創出、家庭や事業所における緑のカーテンなどの普及啓発に取り組んでいる。

**要望等** 緑を増やす視点を都市計画に位置づけ、木陰や日陰などの避暑空間を町なかに作っていく仕組みづくりを求める。

**議員** 火葬件数に占める規格葬儀（＊8）の利用割合が近年減少している。周知方法と生活保護受給者などの生活困窮者への対応を聞く。

**規格葬儀 利用割合の減少 市民への周知方法は**

**部長** パンフレットを公共施設に配架し、ホームページに掲載している。生活困窮者には、葬儀の相談時にケースワーカー等が案内している。

**要望等** 火葬場の繁忙期に日延べとなった場合の追加費用負担を軽減する支援制度の創設も求める。

### JR沿線のまちづくり 地域の声を把握して 公共交通の充実を

公明党議員団
東 実名子



**議員** 5年度実施のアンケートでは、外出したいのにできない理由として、「行きたい時間に利用できる鉄道、バスがない」の回答が、市全域では約20％に対し、JR沿線では約50％であったという。JR沿線地域特有の交通課題があると考えるが、自治会や校区コミュニティ、公共交通を利用する市民などの声をどのように把握し、今後の交通施策にどう反映するのか。

**部長** 当該アンケートは、総合交通計画改定に当たり実施しており、今後も同計画の中間見直しの際などに、地域の声を聴いて施策への反映に努める。

**要望等** 長尾地域のまちづくりが進められている。10年先、さらにその先の姿を見据え、地域住民の声を丁寧に聴き、交通事業者やJR沿線の自治体と連携し、まちづくりと公共交通の充実を一体的に進めるよう求める。

**その他の質問**

○避難所周辺の防犯灯を太陽光パネル付きに

○放課後に子どもが主体的に遊べる環境整備を

### 教職員の働き方改革 困難事案への早期対応と 外部人材の活用を

連合市民の会
野村生代



**議員** 教職員の働き方改革のため、国が示す学校と教師の業務の3分類（＊9）を踏まえた業務の見直し状況を聞く。

**部長** 教育委員会としては、分類に即した改善を進めており、今後も未実施の業務を整理し、関係各所と連携して取組を進める。

**要望等** 保護者等からの過剰な苦情、要求等、学校で対応困難な事案の対応に早期に取り組むこと、外部人材を生かす管理職のマネジメントを求める。

**包括的性教育 全校での実施を**

**議員** 自他の人権や健やかな人間関係、性暴力の防止などを学ぶ包括的性教育を進めるべきである。子どもたちの心身の安全を守り、自他を尊重する態度を育む教育について、教育長の見解を聞く。

**教育長** 子どもたちが自他を大切にする心を育めるよう、各学校への適切な支援や安心して学べる環境づくりに取り組む。

**要望等** 学校間で取組状況に差もある。包括的性教育の全校導入を求める。

### 枚方市駅周辺再整備 実現可能な方向で 一刻も早い結論を

自由民主党・無所属の会
前田富枝



**議員** 市長は、市内外からの消費等による地域経済活性化につながるような、枚方市駅周辺ならではのにぎわいを創出するというが、どう実現するのか。

**市長** 多様な都市機能や新たなサービスが生まれ、経済的にも持続可能なまちづくりが進む必要があると考える。

**要望等** これ以上貴重な時間を費やすことなく、必要な検証を行い、市長の進みたい方向ではなく、実現可能な方向で、一刻も早く結論を出すよう求める。

**利用実態を見極め 枚方市駅市民窓口センター 体制等見直し検討を**

**議員** 枚方市駅市民窓口センターの利用者は依然として少ない。手続可能業務が証明発行のみとなる17時30分～21時の1日当たりの平均利用者数を聞く。

**部長** 7年度実績では、1日平均6・7人である。

**要望等** 証明発行はコンビニでもできる。利用者増への取組自体は否定しないが、同センターの体制や窓口開設時間の見直し等も必要と意見する。

---




枚方市議会報 第364号掲載 ぎかい探Q28 答え

ほ ん か い ぎ

毎回季節に合わせた台紙でクオカードをお届け！

**2・3面 用語の解説**

＊1 ほこみち制度…にぎわいのある道路空間を創出するための道路の指定制度のこと。歩道等の中に歩行者空間を確保しながら、イベントの実施など多様な活用が可能となる。

＊2 白ナンバー…自家用としての利用に限定された車両のこと。自家用有償旅客運送では、市町村やNPO法人等が、例外的に、当該車両を用いて運送サービスを提供することを可能としている。

＊3 街区…4面参照。

＊4 親子方式…親となる学校の調理場で調理した給食を、子となる他の学校へ配送する方式のこと。

＊5 ふれあいサポート収集…ごみを収集場所まで持ち出すことが困難な要介護1以上の高齢者、1・2級の身体障害者手帳の交付を受けた人等のみで構成される世帯に対し、市の職員が玄関先まで戸別に訪問し、ごみを収集する支援事業のこと。

＊6 立地適正化計画…人口減少・少子高齢化に対応するため、居住や医療、福祉、商業などの都市機能増進施設を適切に誘導することで、集約型都市構造の実現や、公共交通に関する施策などを位置づけ、「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」を実現するための計画のこと。